

EHIME ROUSAI HOSPITAL KANGOBUN NEWS NURSE LETTER Mont. 2



リーダーコース
公開講座

SWOT分析発表

手術室 小川早智

～ 敵を知り己を知らば百戦危うからず ～

SWOTとは、強み(Strength)、弱み(Weakness)、機会(Opportunity)、脅威(Threat)の略です。周囲を取り巻く環境を「強み・弱み」といった内部環境と「機会・脅威」という外部環境(社会情勢など)の2軸で分析します。そして、4つの項目をクロスさせた表を作成すると、対処すべき方向性が見えるという仕組みです。強みと機会の相乗効果を狙った戦略、強みを生かして脅威に抵抗した戦略、弱みを克服しつつ機会を生かす戦略、守りに徹し、撤退も検討する戦略が導き出せます。今回は、内部環境を各部署、外部環境を院外と捉え、各部署のリーダーコース受講者が中心となり、SWOT分析を行い公開講座で発表しました。SWOT分析を行って気づいたことは、内部環境についてはいろいろな強み弱みが浮かんだのに対し、外部環境には疎く、機会や脅威が思った以上に出てこなかったことです。内向きの視野ばかりではなく、外部に向ける目を養えるよう視野を広げることが必要だと思いました。次年度はこれらの導き出された戦略をもとに、BSC作成につなげていこうと思います。



★ TQM発表 ★

業務改善委員 杉田安子

2/19院内TQM大会が行われました。看護部門からは『もしもし減量作戦』というテーマのもと、電話対応の減少を目指して業務改善に取り組みました。今回初めて他部門へ協力を依頼し、その成果を発表しました。このことにより、看護部の頑張り他部門にも理解していただけたのではないのでしょうか。今までは他部門を巻き込んでの業務改善は、あまり働きかけないまま、あきらめてしまっていたことが多かったように思います。今回の業務改善活動を通じ、

“あきらめないで働きかける”ということの大切さを認識しました。これからもこのような活動を行い働きやすい職場環境をみんなで作っていきましょう。



愛媛学会発表

N4 加地真琴

2月17日(第2回)愛媛看護研究学会が開催され、昨年院内で行った看護研究「早期臍帯脱落への援助」の発表をさせていただきました。ドライテクニックという言葉はあまり知られていないためか、質問などは少なく意見交換ができなかったのが残念でした。しかしこのような場で研究成果を発表できたことは、大変貴重な経験となりました。また、学会は午前4題、午後16題と多くの発表が行われ、県内の病院・施設での様々な分野の研究発表を聞くことができました。患者の苦痛を軽減するための研究や安楽に向けた研究もあり、

日頃の看護を行ううえで疑問を持つことの重要性や研究を今後の看護実践に活かすことの重要性を再認識できました。



その思い
あきらめないで

院内AEDセミナーに参加して

北6病棟 大西恵

私は2/10に開かれた第2回院内AEDセミナーに参加しました。体位変換から始まり、心肺蘇生法、AEDの使用手法など4時間という制約された時間の中で指導を受けながら実施しました。AEDに関しては実際に使用した経験が無く、最初は不安ながら使用していました。しかし何度か繰り返すうちに慣れることができました。就職してから約2年が経ちますが、急変という状況に遭遇することは少なく、これまでは実際に起こっても自分がどの役割を担えばよいのか戸惑うことがありました。今回セミナーに参加して早急な対応が重要であることを学び、実技を通して自信をつけることができました。この学びを今後病棟で活かしていけるよう努力していきたいと思ひます。

